

令和3年度

日向東白杵広域連合
歳入歳出決算審査意見書

日向東白杵広域連合監査委員

発日東広監第26号
令和4年10月28日

日向東臼杵広域連合
広域連合長 十屋 幸平 様

日向東臼杵広域連合
監査委員 成合 学

監査委員 山本 文男

令和3年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和3年度歳入歳出決算書、決算附属書類及び証書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

	頁
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
第5 決算の概要	1
1 歳 入	2
第1款 分担金及び負担金	2
第2款 使用料及び手数料	3
第3款 国庫支出金	3
第4款 県支出金	3
第5款 財産収入	4
第6款 寄附金	4
第7款 繰入金	4
第8款 繰越金	5
第9款 諸収入	5
第10款 組合債	5
2 歳 出	6
第1款 議会費	6
第2款 総務費	7
第3款 衛生費	7
第4款 公債費	8
第5款 予備費	8
第6 実質収支に関する調書	9
第7 財産に関する調書	9
1 公有財産	9
2 物 品	9
3 基 金	9
む す び	10
決算審査資料	11

凡 例

- 1 文中及び表中の円単位以外で表示した金額及び各比率は、表示単位未満で四捨五入している。また、合計と内訳を一致させるため調整を行っている。
- 2 「ポイント」は、前年度の%との比較である。
- 3 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。

「 0.0 」 …………… 該当数値はあるが、単位未満のもの

「 △ 」 …………… マイナス

「 — 」 …………… 該当数値のないもの

「 皆増 」 …………… 前年度に該当数値がなく、全額増加したもの

「 皆減 」 …………… 当年度に該当数値がなく、全額減少したもの

令和3年度 日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和4年9月1日から10月20日まで

第3 審査の方法

- 1 審査に当たっては、審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類が地方自治法等の関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確で適正に処理されているかについて確認するとともに、予算は法令等に基づいて適切に執行されているかなど、予算の執行状況とその事務処理の適否等について審査した。
- 2 審査は、関係諸帳簿と証拠書類等との照合のほか、関係職員から説明を聴取するなどして実施し、主な建設工事等については関係書類を確認するなどして実施した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数においても正確で、令和3年度における歳入歳出予算の執行状況は、おおむね適正であると認められた。

第5 決算の概要

当年度の決算額は、

歳	入	629,673,867円
歳	出	615,643,713円
歳入歳出差引	残額	14,030,154円
翌年度へ繰り越すべき財源		0円
実質	収支額	14,030,154円

であり、前年度に比べ歳入は 18,020,409円 (2.9%)、歳出は 19,516,446円 (3.3%) それぞれ増加している。

1 歳入

歳入の決算額は、

予 算 現 額	628,000,000円
調 定 額	629,673,867円
収 入 済 額	629,673,867円
収 入 未 済 額	0円

となっている。

収入済額の予算現額に対する比率は 100.3%で、調定額に対する比率は100.0%である。

収入済額を款別にみると、次のとおりである。

表 1 (単位：円・%)

款 別	令和 3 年度		令和 2 年度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (A)-(B)	増減率
分担金及び負担金	550,473,994	87.4	565,949,069	92.5	△ 15,475,075	△ 2.7
使用料及び手数料	30,509,500	4.8	30,898,500	5.0	△ 389,000	△ 1.3
国庫支出金	0	-	0	-	0	-
県支出金	0	-	0	-	0	-
財産収入	49,115	0.0	88,596	0.0	△ 39,481	△ 44.6
寄附金	0	-	0	-	0	-
繰入金	48,373,000	7.7	14,393,500	2.4	33,979,500	236.1
繰越金	0	-	0	-	0	-
諸収入	268,258	0.1	323,793	0.1	△ 55,535	△ 17.2
組合債	0	-	0	-	0	-
合 計	629,673,867	100.0	611,653,458	100.0	18,020,409	2.9

第 1 款 分担金及び負担金

予 算 現 額	550,651,000円
調 定 額	550,473,994円
収 入 済 額	550,473,994円

収入済額の予算現額に対する比率は 100.0%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 2 (単位：円・%)

項 別	令和 3 年度 金 額 (A)	令和 2 年度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			金 額 (A)-(B)	増減率
分 担 金	497,929,000	511,311,000	△ 13,382,000	△ 2.6
負 担 金	52,544,994	54,638,069	△ 2,093,075	△ 3.8
合 計	550,473,994	565,949,069	△ 15,475,075	△ 2.7

1 分担金

前年度に比べ 13,382,000円 (2.6%) 減少している。これは、清掃分担金 (最終処分

場) 8,952,000円等の増加はあるものの、保健衛生分担金(斎場施設) 17,767,000円及び一般管理分担金 6,607,000円の減少によるものである。

2 負担金

前年度に比べ 2,093,075円(3.8%)減少している。これは、主に清掃費負担金(ごみ処理施設)の減少によるものである。

第2款 使用料及び手数料

予 算 現 額	28,701,000円
調 定 額	30,509,500円
収 入 済 額	30,509,500円

収入済額の予算現額に対する比率は 106.3%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 3

(単位:円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	率
使 用 料	30,509,500	30,898,500	△ 389,000	△ 1.3
手 数 料	0	0	0	-
合 計	30,509,500	30,898,500	△ 389,000	△ 1.3

1 使用料

前年度に比べ 389,000円(1.3%)減少している。これは、保健衛生使用料(斎場使用料)の減少によるものである。

2 手数料

手数料収入はない。

第3款 国庫支出金

予 算 現 額	1,000円
調 定 額	0円
収 入 済 額	0円

当年度も、前年度と同様に国庫支出金の収入はない。

第4款 県支出金

予 算 現 額	1,000円
調 定 額	0円
収 入 済 額	0円

当年度も、前年度と同様に県支出金の収入はない。

第5款 財産収入

予 算 現 額	45,000円
調 定 額	49,115円
収 入 済 額	49,115円

収入済額の予算現額に対する比率は 109.1%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表4 (単位：円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	増減率
財産運用収入	49,115	88,596	△ 39,481	△ 44.6
財産売払収入	0	0	0	-
合 計	49,115	88,596	△ 39,481	△ 44.6

1 財産運用収入

前年度に比べ 39,481円 (44.6%) 減少している。これは、利子及び配当金の減少によるものである。

2 財産売払収入

財産売払収入はない。

第6款 寄附金

予 算 現 額	1,000円
調 定 額	0円
収 入 済 額	0円

当年度も、前年度と同様に寄附金の収入はない。

第7款 繰入金

予 算 現 額	48,500,000円
調 定 額	48,373,000円
収 入 済 額	48,373,000円

収入済額の予算現額に対する比率は99.7%、調定額に対する比率は 100%である。収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表5 (単位：円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	増減率
基金繰入金	48,373,000	14,393,500	33,979,500	236.1

1 基金繰入金

前年度に比べ 33,979,500円 (236.1%) 増加している。これは、火葬場施設整備基金

繰入金 18,979,500円の増加に加え、財政調整基金繰入金、一般廃棄物最終処分場施設整備基金繰入金の皆増によるものである。

第8款 繰越金

予 算 現 額	1,000円
調 定 額	0円
収 入 済 額	0円

当年度も、前年度と同様に繰越金の収入はない。

第9款 諸収入

予 算 現 額	98,000円
調 定 額	268,258円
収 入 済 額	268,258円

収入済額の予算現額に対する比率は 273.7%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表6

(単位：円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	増減率
預 金 利 子	10	50	△ 40	△ 80.0
雑 入	268,248	323,743	△ 55,495	△ 17.1
合 計	268,258	323,793	△ 55,535	△ 17.2

1 預金利子

前年度に比べ 40円 (80.0%) 減少している。これは、預金利子の減少によるものである。

2 雑入

前年度に比べ 55,495円 (17.1%) 減少している。これは、自動販売機設置手数料 11,919円の増加、電話機休止費用還付金の皆増等はあるものの、鉄骨廃材処分費 57,390円の減少、現場事務所使用光熱水費の皆減等によるものである。

第10款 組合債

予 算 現 額	1,000円
調 定 額	0円
収 入 済 額	0円

当年度も、前年度と同様に組合債の収入はない。

2 歳出

歳出の決算額は、

予 算 現 額	628,000,000円
支 出 済 額	615,643,713円
翌 年 度 繰 越 額	0円
不 用 額	12,356,287円

となっている。

予算執行率は 98.0%（前年度97.9%）である。

支出済額を款別にみると、次のとおりである。

表 7

(単位：円・%)

款 別	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
議 会 費	670,913	0.1	836,109	0.1	△ 165,196	△ 19.8
総 務 費	31,026,059	5.0	33,653,353	5.7	△ 2,627,294	△ 7.8
衛 生 費	509,126,263	82.7	478,613,493	80.3	30,512,770	6.4
公 債 費	74,820,478	12.2	83,024,312	13.9	△ 8,203,834	△ 9.9
予 備 費	0	-	0	-	0	-
合 計	615,643,713	100.0	596,127,267	100.0	19,516,446	3.3

第1款 議会費

予 算 現 額	1,023,000円
支 出 済 額	670,913円
不 用 額	352,087円

予算執行率は、 65.6%（前年度 75.9%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 8

(単位：円・%)

項 別	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	比 較 増 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (A)-(B)	増 減 率
議 会 費	670,913	836,109	△ 165,196	△ 19.8

前年度に比べ 165,196円（19.8%）減少している。これは、役務費 8,000円の増加はあるものの、報酬 70,400円及び旅費 52,666円等の減少によるものである。

不用額 352,087円は、執行残によるものである。

第2款 総務費

予 算 現 額	34,532,000円
支 出 済 額	31,026,059円
不 用 額	3,505,941円

予算執行率は、89.8%（前年度93.3%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表9 (単位：円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	増減率
総務管理費	30,876,330	33,489,677	△ 2,613,347	△ 7.8
選挙費	94,706	108,912	△ 14,206	△ 13.0
監査委員費	55,023	54,764	259	0.5
合 計	31,026,059	33,653,353	△ 2,627,294	△ 7.8

1 総務管理費

前年度に比べ2,613,347円（7.8%）減少している。これは、負担金、補助及び交付金158,366円等の増加はあるものの、給料1,454,112円、委託料433,100円等の減少によるものである。

2 選挙費

前年度に比べ14,206円（13.0%）減少している。

3 監査委員費

前年度に比べ259円（0.5%）増加している。

不用額3,505,941円は、主に総務管理費3,437,670円で、執行残によるものである。

第3款 衛生費

予 算 現 額	516,374,000円
支 出 済 額	509,126,263円
不 用 額	7,247,737円

予算執行率は、98.6%（前年度98.1%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表10 (単位：円・%)

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較増減	
			金額 (A)-(B)	増減率
保健衛生費	121,195,374	112,497,932	8,697,442	7.7
清掃費	387,930,889	366,115,561	21,815,328	6.0
合 計	509,126,263	478,613,493	30,512,770	6.4

1 保健衛生費

前年度に比べ 8,697,442円（7.7%）増加している。これは、積立金 35,000,000円の皆減等はあるものの、工事請負費 37,959,000円、需用費 4,222,310円等の増加によるものである。

2 清掃費

前年度に比べ 21,815,328円（6.0%）増加している。これは、給料 2,683,017円、工事請負費 1,171,154円等の減少はあるものの、委託料 15,641,790円、需用費 5,042,085円、負担金、補助及び交付金 5,435,839円等の増加によるものである。

不用額 7,247,737円は、保健衛生費 240,626円及び清掃費 7,007,111円で、執行残によるものである。

第4款 公債費

予 算 現 額	75,071,000円
支 出 済 額	74,820,478円
不 用 額	250,522円

予算執行率は、99.7%（前年度99.9%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表11

（単位：円・%）

項 別	令和3年度 金額 (A)	令和2年度 金額 (B)	比較 増 減	
			金額 (A)-(B)	増減率
公 債 費	74,820,478	83,024,312	△ 8,203,834	△ 9.9

前年度に比べ 8,203,834円（9.9%）減少している。これは、主に組合債（斎場施設）の償還が令和2年度で終了したことによる元金 4,440,000円の減少、また平成22年度に借入を行っている財政融資資金（ごみ処理施設）分が令和3年度中に終了したためである。

当年度における借入金（元金）の状況は、次のとおりである。

表12

（単位：千円）

区 分	令和2年度 末現在高	令和3年度 発行額	令和3年度 償還額	差引現在高
ごみ処理施設	190,179	0	74,245	115,934

第5款 予備費

予 算 額	1,000,000円
充 用 額	0円
予 算 現 額	1,000,000円
不 用 額	1,000,000円

当年度も、前年度と同様に予備費の充用はない。

第6 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の計数は、正確であると認められ、その額は 14,030千円で前年度に比べ 1,496千円減少している。

第7 財産に関する調書

1 公有財産

公有財産の当年度末現在高は、土地 27,438㎡、建物 6,101㎡で前年度と変動はない。

2 物 品

物品の当年度末の現在高は、貨物自動車 が 2台であり、前年度と変動はない。

3 基 金

基金の状況は、次のとおりである。

表13

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
財 政 調 整 基 金	36,065	△ 1,291	34,774
一般廃棄物最終処分場 施 設 整 備 基 金	21,920	△ 8,110	13,810
火葬場施設整備基金	77,581	△ 28,049	49,532
ごみ処理施設整備基金	326,920	5,603	332,523
合 計	462,486	△ 31,847	430,639

む す び

当年度の決算額は、歳入総額 6 億 2,967万円、歳出総額 6 億 1,564万円で、前年度に比べ歳入で 1,801万円 (2.9%)、歳出では 1,951万円 (3.3%) それぞれ増加している。

その結果、実質収支額は 1,403万円となっている。

各施設の管理運営状況をみると、まず、東郷霊苑については、当年度の使用状況が 1,306件で、前年度より 9件 (0.7%) の減となっており、内訳は火葬件数が 7件増加、待合室の使用件数は 16件の減少となっている。

また、施設の維持管理については、供用開始から15年以上が経過し、「第3次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画 (計画期間：令和3年度～令和7年度)」に基づいて、火葬炉及び付帯設備補修工事、待合棟外壁等改修工事等が行われている。

次に、清掃センターについては、ごみの焼却量が 23,206トンとなり、前年度より 17トンの増となっている。一方、一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (改定計画：令和2年度～令和6年度) においては、1人1日当たりのごみ排出量を、令和6年度には 856g/人・日まで削減することが目標値として設定されており、令和3年度の実績では 943g/人・日が見込まれている。昨年度と比較して 11g/人・日 (1.2%) 増加しており、ごみの排出抑制に向けた施策推進が求められる。

施設の設備機器類については、長寿命化計画書 (長期施設整備計画) に基づいて2号焼却炉耐火物改修工事、1号焼却炉助燃バーナ更新工事等が実施され、運営管理が適切かつ効率的に行われている。

また、焼却処理により発生する排ガス等については、各汚染物質の分析検査結果が基準値内の適正な数値を保持しており、周辺環境の保全に沿った管理運営がなされている。

次に、次期最終処分場の整備については、学識経験者や住民代表等で構成する「次期広域最終処分場用地選定検討委員会」が開催され、候補地の絞り込み選定について、順次協議が行われている。今後も日向東臼杵広域連合最終処分場施設整備方針等に基づき、円滑に事業を進められたい。

以上のとおり、各施設の管理運営については、おおむね適正に執行され、効率的な共同処理が行われている。

そうした中、清掃センターの設備機器類については、今後、長寿命化計画の適宜見直しとともに、基幹的設備改良工事を実施することにより施設の延命化を図るためには、それ相応の財政負担を伴う事業も必須のものであり、これに対応する財源の確保が重要なものとなってくる。

今後とも、第5次日向東臼杵広域連合広域計画や長寿命化計画 (長期施設整備計画) 等に基づき、安全かつ持続安定的な施設の管理・運営と長期的展望を見据えた経営に努められることを望むものである。

令和 3 年度

決算 審査 資料

資料1 人口の推移

区 分	令和4年3月末日現在		令和3年3月末日現在		令和2年3月末日現在	
	人口(人)	前年比(%)	人口(人)	前年比(%)	人口(人)	前年比(%)
日向市	58,454	△ 1.1	59,115	△ 0.9	59,632	△ 0.7
門川町	16,995	△ 1.7	17,285	△ 0.8	17,433	△ 0.5
美郷町	4,586	△ 3.2	4,739	0.7	4,704	△ 4.2
諸塚村	1,391	△ 2.8	1,431	△ 2.4	1,466	△ 3.6
椎葉村	2,371	△ 2.3	2,427	△ 3.1	2,504	△ 2.2
合 計	83,797	△ 1.4	84,997	△ 0.9	85,739	△ 0.9

資料2 ごみ焼却量の推移

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	量(t)	前年比(%)	量(t)	前年比(%)	量(t)	前年比(%)
日向市	16,689	0.6	16,592	△ 1.8	16,890	0.5
門川町	5,074	△ 1.3	5,139	△ 1.3	5,206	0.1
美郷町	877	△ 0.5	881	△ 1.9	898	6.4
諸塚村	191	△ 1.5	194	1.6	191	3.2
椎葉村	375	△ 2.1	383	2.4	374	1.4
合 計	23,206	0.1	23,189	△ 1.6	23,559	0.7

資料3 日向地区斎場東郷霊苑使用件数の推移

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	件	前年比(%)	件	前年比(%)	件	前年比(%)
日向市	814 (4)	△ 1.6	827 (17)	8.7	761 (22)	1.7
門川町	265 (0)	0.0	265 (2)	23.8	214 (1)	△ 15.4
美郷町	145 (1)	7.4	135 (2)	8.9	124 (8)	△ 13.9
諸塚村	25 (0)	8.7	23 (0)	△ 30.3	33 (2)	△ 8.3
椎葉村	30 (0)	△ 16.7	36 (0)	△ 7.7	39 (2)	25.8
その他	27 (0)	△ 6.9	29 (0)	△ 6.5	31 (2)	10.7
合 計	1,306 (5)	△ 0.7	1,315 (21)	9.4	1,202 (37)	△ 3.1

※ 使用件数のうち待合室等の使用件数は、括弧書きで再掲している。

資料4 焼却量等の推移

区 分	単位	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		量	前年比(%)	量	前年比(%)	量	前年比(%)
ごみ焼却量	t	23,206	0.1	23,189	△ 1.6	23,559	0.7
電力使用量	kwh	1,815,210	3.5	1,753,855	1.2	1,733,224	△ 0.2
A重油使用量	kℓ	10.0	△ 37.5	16.0	6.7	15.0	50.0
灰搬出量	t	2,499	△ 1.4	2,534	4.7	2,421	△ 0.6

資料5 ダイオキシン類等測定分析結果の推移(清掃センター)

測定項目	単位	基準値	令和3年度		令和2年度		令和元年度		
			1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m ³ N	5	0.058	0.19	0.031	0.055	0.036	0.046
	飛灰	ng-TEQ/g	3	0.140	0.150	0.300	0.180	0.170	0.110
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.0000064	0.00130	0.00018	0.00130	0.00057	0.00037
一酸化炭素	ppm	100	2	2	3	2	2	2	
ばいじん	g/m ³ N	0.15	0.005	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
塩化水素	mg/m ³ N	700	250	230	280	73	190	49	
硫黄酸化物	m ³ N/h	50~60	0.91	0.45	1.50	0.65	1.00	0.81	

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料6 ダイオキシン類等測定分析結果の推移(日向地区斎場東郷霊苑)

測定項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³ N	0.98	7.70	3.60
一酸化炭素	ppm	2.00	22.00	21.00
ばいじん	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化水素	mg/m ³ N	5.00未満	5.00未満	5.00未満
硫黄酸化物	m ³ N/h	0.031	0.015未満	0.019

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料7の① 事業別分担金の内訳

(単位：千円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	15,242	13,889	20,239	-	175,560	53,662	278,592	56.0
門川町	7,173	5,198	6,859	11,595	65,380	19,123	115,328	23.2
美郷町	3,477	3,357	2,819	3,834	23,221	6,258	42,966	8.6
諸塚村	2,713	1,608	1,806	1,887	16,795	4,169	28,978	5.8
椎葉村	2,857	1,632	1,777	2,526	18,523	4,750	32,065	6.4
合計	31,462	25,684	33,500	19,842	299,479	87,962	497,929	100.0

資料7の② 事業別分担金の繰越額内訳

(単位：円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	2,285,166	979,873	75,851	-	2,088,602	277,102	5,706,594	40.7
門川町	1,168,002	366,358	26,383	1,868,219	778,306	97,957	4,305,225	30.7
美郷町	552,247	236,964	10,855	618,318	276,610	32,154	1,727,148	12.3
諸塚村	423,447	113,180	7,217	304,339	199,424	21,899	1,069,506	7.6
椎葉村	447,107	115,583	6,694	407,361	220,342	24,594	1,221,681	8.7
合計	4,875,969	1,811,958	127,000	3,198,237	3,563,284	453,706	14,030,154	100.0